

## 令和2年度 教育委員会関係会議の開催状況

藤里町教育委員会委員名簿（令和2年度在籍）

職名	氏名
教育長職務代理	鎌田 孝人
委員	水戸 一美
委員	加藤 康代
委員	袴田 俊英
教育長	浅利 美津子

・教育委員会 12回

## 令和2年度 教育委員会関係会議の審議状況

毎月初旬を目途に定例教育委員会を開催。規則、要綱等の制定及び改廃の審議や、教育関係予算、附属機関の委員の委嘱等について審議を行いました。

## 令和2年度 教育委員会審議案件等一覧

4月定例教育委員会（開催日：令和2年4月2日）

番号	案 件
議案第5号	藤里町立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
議案第6号	藤里町奨学金返還助成金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について
議案第7号	藤里町招致外国青年就業規則を廃止する規則の制定について
議案第8号	藤里町招致外国青年任用規則の制定について
議案第9号	藤里町教育委員会の事務局設置規則の一部を改正する規則の制定について
議案第10号	藤里町立小中学校事務共同実施推進協議会設置要綱の制定について

その他の主な報告・協議事項について

・事務報告について

・藤里町教育委員会職員の異動について

・藤里町小・中学校教職員の異動について

5月定例教育委員会（開催日：令和2年5月7日）

番 号	案 件
なし	なし

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・教科用図書の採択等について

6月定例教育委員会（開催日：令和2年6月4日）

番 号	案 件
議案第11号	令和2年度一般会計補正予算(第4号・教育委員会関係分)の承認について
議案第12号	藤里町スクールサポーターの委嘱について
議案第13号	藤里町教育支援委員の任命について
議案第14号	藤里町文化財保護審議委員の任命について
議案第15号	藤里町生涯学習奨励員連絡協議会委員の委嘱について
議案第16号	藤里町放課後児童健全育成事業実施に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第17号	藤里町放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・教科用図書の採択等について

7月定例教育委員会（開催日：令和2年7月9日）

番 号	案 件
なし	なし

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・スポーツ大会等の結果について
・教科用図書の採択等について

8月定例教育委員会（開催日：令和2年8月5日）

番 号	案 件
なし	なし

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・スポーツ大会等の結果について

9月定例教育委員会（開催日：令和2年9月3日）

番 号	案 件
なし	なし

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・教育委員会委員の選任について
・スポーツ大会等の結果について
・行事の後援について

10月定例教育委員会（開催日：令和2年10月8日）

番 号	案 件
議案第18号	藤里町教育委員会教育長の職務代理者の指名について
議案第19号	令和2年度一般会計補正予算(第8、9号・教育委員会関係分)の承認について

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・スポーツ大会等の結果について

11月定例教育委員会（開催日：令和2年11月5日）

番 号	案 件
なし	なし

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・スポーツ大会等の結果について
・行事の後援について(専決)

12月定例教育委員会（開催日：令和2年12月3日）

番 号	案 件
議案第20号	令和2年度一般会計補正予算（第12号・教育委員会関係分）の承認について

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について

1月定例教育委員会（開催日：令和3年1月14日）

番 号	案 件
議案第1号	令和3年度一般会計当初予算（教育委員会関係分）の承認について

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について

2月定例教育委員会（開催日：令和2年2月18日）

番 号	案 件
なし	なし

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・行事の後援について(専決)
・令和2年度藤里町スポーツ・文化栄誉賞受賞候補者の選考審議について

3月定例教育委員会（開催日：令和3年3月19日）

番 号	案 件
なし	なし

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・行事の後援について(専決)

## 教育委員会議以外の活動状況

### ◎学校等教育施設及び社会教育施設の訪問

新型コロナウイルスのため、関係施設等への訪問はおこなわず、開発センターにて学校経営方針の説明や施設の管理状況などを確認した。

### ◎各種行事

新型コロナウイルスのため、学校毎の各種行事には参加することがほとんどできなかったが、小・中学校の卒業式には委員各1名が参加した。なお、成人式やスポーツ・文化栄誉賞の式典は中止となっている。

## 教育委員会関係事業の実施状況及び評価

### 1 藤里町の学校教育

保育や教育の多様化及び施設の老朽化等に対応するため、幼児教育並びに小・中学校教育活動の推進のため、環境の整備を図る。

#### (1) 保育・教育施設の整備充実

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合
<p>①施設等整備事業（保、幼、小、中、給食センター）</p>	<p><b>【保育園】</b> 給湯ボイラードレン配管修繕、調理室業務用冷凍冷蔵庫コンデンサー修繕、ガス給湯器取替え、保育室カーペットクリーニング、施設内全エアコン・全換気扇の清掃、調理室排水管の簡易洗浄清掃などを行い園内外の環境整備を図った。</p> <p><b>【幼稚園】</b> 老朽化した雲梯の撤去、防油堤地中埋設配管の詰まり修繕、保育室ガラス交換、玄関階段タイル修繕、園児用小便器フラッシュバルブ交換、水飲み場蛇口交換を行い、園内外の環境整備を図った。</p> <p><b>【小学校】</b> 4年生水飲み場や職員室流しの漏水修理、高学年男子トイレの汚水詰まり補修、女子トイレのフラッシュ清掃など校舎の老朽化による水回り関係の修繕を行い、児童の環境改善に努めるとともに、トイレ清掃、廊下等ワックス作業、窓ガラス清掃及び暖房機器の清掃点検などの定期点検を行った。 令和5年4月の義務教育学校開校に向け、令和2年度から第一期工事として、職員室棟・教室棟の増築工事を実施したほか、冷暖房完備に備えた大型キュービクルを敷地内に設置した。</p> <p><b>【中学校】</b> 駐車場の区画線補修、吹奏楽室のカーテンレール交換、校内の故障した照明器具の交換の他、窓ガラス清掃、暖房機器の清掃点検などを行い、校内の環境改善を図った。また、生徒の健康面に配慮し、夏場の暑さ対策として、白神ルームにエアコンを設置した。</p>	<p>A</p>

	<p><b>【給食センター】</b></p> <p>調理に影響が生じないよう、施設の維持に係る修繕作業等職員からの依頼に早急に対処した。</p>	
②備品購入事業 (保、幼、小、中、給食センター)	<p><b>【保育園】</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、国庫補助金等を活用し、施設内に空気清浄機及び入り口に非接触セルフ検温端末を設置した。また、カラーパイプテーブル、サーキュレーター、サスマタ、テプラ本体、ビルディングブロックなどを購入し環境整備を図った。</p> <p><b>【幼稚園】</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、国庫補助金等を活用し、施設内に空気清浄機及び入り口に非接触セルフ検温端末を設置した。また、とび箱頭部張替え、とび箱用ロイター板、収納ボックス、ハンガースタンドを購入し環境整備を図った。</p> <p><b>【小学校】</b></p> <p>国のGIGAスクール構想に基づき、児童一人に1台のタブレットを整備したほか、今後の遠隔授業・研修に対応するためWebカメラを購入した。また暑さ対策のため、移動式のスポットエアコンを購入したほか、コロナ対策として非接触セルフ検温端末、空気清浄機を購入した。その他、故障していた屋外グラウンド用の時計を更新、防犯対策としてテレビドアホンを玄関に設置、職員の働き方改革の一環として勤怠管理ソフト、インパクトドライバー、低位置らくがき回転式ボードを購入した。</p> <p><b>【中学校】</b></p> <p>国のGIGAスクール構想に基づき、生徒一人に1台のタブレットを整備したほか、今後の遠隔授業・研修に対応するためWebカメラを購入した。また暑さ対策のため、移動式のスポットエアコンを購入したほか、コロナ対策として非接触セルフ検温端末、透明ボードを購入した。その他、古くなっていた楽器のコンサートマリンバを購入したほか、理科実験用の器具やミシンを更新、購入するなどして、授業等に支障が無いよう配慮した。</p> <p><b>【給食センター】</b></p> <p>老朽化のため使用が困難となった冷蔵庫を更新した。</p>	A

(2) 子育て支援の充実

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合						
①子育て支援センター事業	町の健診に出向いて親子遊びを紹介したほか、産後2ヶ月の家庭を訪問するなど子育て家庭の支援を行った。また、0～2歳児の遊びのひろば「ばんぶ～ひろば」を毎月開催したほか講師を招いて子育て支援講座を開催するなど育児支援の充実を図った。子育て中の親子が集い、多くの交流を生むことができた。	A						
②子ども・子育て支援事業	子ども・子育て支援法等に基づく「藤里町子ども・子育て支援事業計画」を基に、子育て支援に関する事業を展開した。また、「藤里町子ども・子育て会議」を開催し子育て支援の現状や事業実績等について協議を行った。	A						
③放課後児童健全育成事業	<p>保護者が就労等により日中家庭にいない小学校低学年（1年生～3年生）を対象に、放課後の適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図った。</p> <p>高学年利用について、小学校から放課後等の子どもの居場所の必要性を求められた児童について、小学校を通じて加入希望を取り2名の受け入れを実施した。</p> <table border="1" data-bbox="531 1014 1182 1155"> <thead> <tr> <th data-bbox="531 1014 938 1055">登録児童数（月により変動）</th> <th data-bbox="943 1014 1182 1055">利用日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="531 1061 938 1102">令和元年度 35～41名</td> <td data-bbox="943 1061 1182 1102">281日</td> </tr> <tr> <td data-bbox="531 1108 938 1149">令和2年度 30～36名</td> <td data-bbox="943 1108 1182 1149">288日</td> </tr> </tbody> </table>	登録児童数（月により変動）	利用日数	令和元年度 35～41名	281日	令和2年度 30～36名	288日	A
登録児童数（月により変動）	利用日数							
令和元年度 35～41名	281日							
令和2年度 30～36名	288日							



(3) 義務教育学校のための重点施策

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合																									
①小中一貫教育推進委員会	<p>平成30年度に藤里小・藤里中の教職員で組織され、義務教育学校開校に向けた小中一貫教育の基盤づくりを進めており、運営部の他、カリキュラム・研究・生徒指導／保健安全・特別支援の各グループで、9年間の指導計画等について、令和5年度の学校開校に向け、継続して協議を行った。</p> <p>また、藤里町独自の教育として掲げる、問題解決の過程を重視したふるさと教育「町づくり学」と、小学校1年生からの系統的な外国語教育について、内容等を協議・検討しながら、段階的な取り組みを行っている。</p>	A																									
②第1次外国語教育推進事業	<p>児童生徒の英語力の向上を図るため、藤里中の全生徒が英検を受検し、その受検料を町が負担した。令和2年度は小学校6年生も受検した。</p> <p>[令和2年度の級取得者（ ）内=令和元年度取得率]</p> <table border="1" data-bbox="450 922 1264 1572"> <thead> <tr> <th>学年級</th> <th>小6 【10人】</th> <th>中1 【24人】</th> <th>中2 【17人】</th> <th>中3 【11人】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3級</td> <td></td> <td></td> <td>3人 17.6% (0%)</td> <td>9人 81.8% (33.3%)</td> </tr> <tr> <td>4級</td> <td></td> <td></td> <td>10人 58.8% (54.5%)</td> <td>0人 0% (38.9%)</td> </tr> <tr> <td>5級</td> <td>7人 70.0% (なし)</td> <td>18人 75.0% (76.5%)</td> <td>0人 0% (18.2%)</td> <td>0人 0% (5.6%)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7人 70.0% (なし)</td> <td>18人 75.0% (76.5%)</td> <td>13人 76.5% (72.7%)</td> <td>9人 81.8% (77.8%)</td> </tr> </tbody> </table>	学年級	小6 【10人】	中1 【24人】	中2 【17人】	中3 【11人】	3級			3人 17.6% (0%)	9人 81.8% (33.3%)	4級			10人 58.8% (54.5%)	0人 0% (38.9%)	5級	7人 70.0% (なし)	18人 75.0% (76.5%)	0人 0% (18.2%)	0人 0% (5.6%)	合計	7人 70.0% (なし)	18人 75.0% (76.5%)	13人 76.5% (72.7%)	9人 81.8% (77.8%)	A
学年級	小6 【10人】	中1 【24人】	中2 【17人】	中3 【11人】																							
3級			3人 17.6% (0%)	9人 81.8% (33.3%)																							
4級			10人 58.8% (54.5%)	0人 0% (38.9%)																							
5級	7人 70.0% (なし)	18人 75.0% (76.5%)	0人 0% (18.2%)	0人 0% (5.6%)																							
合計	7人 70.0% (なし)	18人 75.0% (76.5%)	13人 76.5% (72.7%)	9人 81.8% (77.8%)																							
③外国語指導助手招致事業	<p>藤里小・藤里中の外国語指導のほか、幼稚園を訪問して交流を図るとともに、町内のスポーツ大会やイベントにも積極的に参加した。また、夏休み期間は、国際交流員（CIR）が講師を務める町営英語塾に、補助として参加した。</p> <p>【現任者任用期間：平成28年8月1日～】</p>	A																									

(4) 特別支援教育の充実

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合								
①各校等取り組みへの支援	学校生活支援員の能力向上のため、各種研修への参加を推奨。小学校においては、特別支援教室の配置換えに合わせてブラインドを設置するなど環境の整備に努めた。	A								
②学校生活支援員配置事業	<p>幼稚園及び小・中学校での生活において支援を必要とする児童生徒に対して、一定数の学校生活支援員を配置することで、個人毎の異なる性格や状況を把握しながら、保護者からの要望に配慮した細やかな支援体制を実施した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>配置箇所</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼稚園</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table>	配置箇所	人数	幼稚園	2名	小学校	5名	中学校	1名	A
配置箇所	人数									
幼稚園	2名									
小学校	5名									
中学校	1名									

(5) 課外・校外活動の充実

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合							
①各校等取り組みへの支援	校外活動、宿泊体験、修学旅行等に対して交通手段の確保と、費用の一部を補てんするなどの支援を行った。	B							
②児童生徒派遣費補助金事業	<p>中学校部活動における各種大会に伴う生徒及び指導者の交通費、宿泊費等経費を援助し、保護者等の負担軽減を図った。</p> <p>なお、交通費については、校外活動等を含めて町民バス、福祉バス、町公用車の使用を優先的に行い、確保できない場合に限り、民間事業者からの借入としている。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>令和2年度活動部一覧</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>野球部</td> </tr> <tr> <td>バスケットボール部</td> </tr> <tr> <td>卓球部</td> </tr> <tr> <td>陸上部</td> </tr> <tr> <td>吹奏楽部</td> </tr> <tr> <td>スキー部</td> </tr> </tbody> </table>	令和2年度活動部一覧	野球部	バスケットボール部	卓球部	陸上部	吹奏楽部	スキー部	A
令和2年度活動部一覧									
野球部									
バスケットボール部									
卓球部									
陸上部									
吹奏楽部									
スキー部									

(6) 学校給食

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合
①学校給食センター事業	町内農業者、農業協同組合の協力のもと、学校給食に地元産（藤里町若しくは能代市山本郡内）の食材（米、あきた牛等）を利用するなど、地産地消の推進を図りながら地域に根付いた事業を実施した。	A

## 2 藤里町の社会教育

### (1) 乳幼児教育

#### ア 重点目標

- (1) 子育てに関する相談の対応・情報提供に努め、新たな学習機会を創出する。  
 (2) 関連他部局、関連諸団体との連絡・調整の整備に努め、連携を図る。

#### イ 令和2年度の重点施策

- ・子育て支援の充実

#### ウ 事業及び評価

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合									
①家庭教育相談	令和2年度内の教育委員会への相談実績はなかった。 日常の保育や健診等で発育等が気になる子どもについては、町保健師との面談や幼保職員との面談、日常の保護者との会話等、あらゆる面で相談がされている。前年度課題の「教委が相談を受け付けていることについて、町民の認知度を上げる必要がある」ことは必要なことではあるが、保護者の立場としては、専門的な相談が可能な保健師や、普段から子どもを保育している幼保職員へのほうが相談しやすい環境であるため、教委は子育て「支援制度」の相談への対応に力を入れるべきか。	B									
②家庭教育関係資料の収集・整理	図書室の司書と連携を取りながら、子育てに関する資料の収集・整理に努めた。また、各種企画展等の機会を利用して、資料を手にとってもらいやすい環境を整えた。	A									
③家庭教育学級の内容の検討	例年、父の日に合わせて、幼稚園に通う児童とその保護者を対象として、親子遊びの体験と子育てに関する講話を行う「家庭教育学級」を行っているが、令和2年度は開催中止となった。 <table border="1" data-bbox="501 1379 1214 1727"> <thead> <tr> <th>月日</th> <th>内容等</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年 6/16（日）</td> <td>・親子遊び「みんなであそぼ ♪いっぱいあそぼ♪」 ・講話「”大好き”の気持ちを伝えたい」</td> <td>92名</td> </tr> <tr> <td>令和2年</td> <td colspan="2">※新型コロナウイルス感染拡大のため、開催を中止。</td> </tr> </tbody> </table>	月日	内容等	参加者	令和元年 6/16（日）	・親子遊び「みんなであそぼ ♪いっぱいあそぼ♪」 ・講話「”大好き”の気持ちを伝えたい」	92名	令和2年	※新型コロナウイルス感染拡大のため、開催を中止。		B
月日	内容等	参加者									
令和元年 6/16（日）	・親子遊び「みんなであそぼ ♪いっぱいあそぼ♪」 ・講話「”大好き”の気持ちを伝えたい」	92名									
令和2年	※新型コロナウイルス感染拡大のため、開催を中止。										
④子育て教養講座の検討	現在のところ、育児サークル開設の必要性は低いとの判断。	B									
⑤講習会・セミナー等への参加の奨励	県などで主催する各種講習会・セミナー等の情報について、随時対象となる町民や団体に広報等を通じて情報提供を行った。	B									

⑥関連他部局・関係諸団体との連携強化	共催事業の実施等、関連他部局・諸団体とは、密に連絡を取り情報共有及び連携に努めた。	B
⑦三世代交流館 図書室	親子で本にふれあう機会として、生後9ヶ月の乳幼児を持つ保護者を対象とした、ブックスタート事業を実施し、合わせて2歳となった時点で同事業のフォローアップを行っている。	A

(2) 在学青少年教育

ア 重点目標

- (1) 子どもの居場所づくりや地域住民の交流の場を充実させる。
- (2) 情報提供体制の整備に努め、奉仕活動や地域活動への参加促進を図る。

イ 令和2年度の重点施策

- ・未来を担う子どもたちへの伝統芸能の継承

ウ 事業及び評価

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合									
①学校休業日・放課後活動事業	夏休みを中心とした、少年教室における生涯学習事業（芸術文化、郷土芸能）を実施した。	A									
②学社融合事業	※後述の「ふるさと学習」を参照	A									
③連合PTAの活動の支援	青少年育成藤里町町民会議として活動を行い、子どもたちの健全育成ならびに福祉の増進、社会教育、家庭教育の充実について可能な支援を講じた。	B									
④ボランティア活動の奨励	ボランティアについては、既に学校や教委とのネットワークが機能しており、特に意識をしなくても、これまでどおり活動を支援し、今後も奨励していく体制がある。	A									
⑤町民大会への受け入れ	町広報、ホームページ等で、大会参加、受け入れを周知している。	B									
⑥少年教室	<p>例年同様、夏休み期間を利用して、小学校3年～中学生を対象とした「少年教室」を開催した。</p> <p>今年は「英語コース」「映像作りコース」「雑誌作りコース」「読書コース」の計4コースを減らし、合計10コースでの開催となった。開催後、アンケートを行い、今後コースの増設等を検討し、子どもたちが充実した体験活動ができる場を提供していく。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>月日</th> <th>内容等</th> <th>延参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年 7/22（月） ～10/26（土）</td> <td>郷土芸能、自然、郷土史等 14コース設置</td> <td>115名</td> </tr> <tr> <td>令和2年 7/22（水） ～10/24（土）</td> <td>郷土芸能、自然、郷土史等 10コース</td> <td>132名</td> </tr> </tbody> </table>	月日	内容等	延参加者	令和元年 7/22（月） ～10/26（土）	郷土芸能、自然、郷土史等 14コース設置	115名	令和2年 7/22（水） ～10/24（土）	郷土芸能、自然、郷土史等 10コース	132名	A
月日	内容等	延参加者									
令和元年 7/22（月） ～10/26（土）	郷土芸能、自然、郷土史等 14コース設置	115名									
令和2年 7/22（水） ～10/24（土）	郷土芸能、自然、郷土史等 10コース	132名									

⑦三世代交流館  
図書室

小学校での読み聞かせ事業等を継続して実施しているほか、平成29年度に認定した「読書活動推進パートナー」（町内企業等2団体）と連携して、町内で図書を気軽に手に取ることができる環境の整備を継続して実施した。

令和元年度まで行っていた「ナイトライブラリー（毎月1回開催）」を、利用者数等の関係から「あさとしょ（早朝開館）」へ変更した。早朝（8:00～10:00）開室し、おはなし会やセット図書の貸出等を実施している。

A

	令和元年度	令和2年度
4月	3名	2名
5月	0名	0名
6月	1名	1名
7月	0名	4名
8月	4名	2名
9月	3名	2名
10月	0名	3名
11月	0名	1名
12月	0名	2名
1月	1名	0名
2月	0名	7名
3月	0名	3名
計	12名	27名

・イベントの開催

(令和元年度)

実施月	内 容 等	参加者
4月	ぬいぐるみおとまり会と手形アート	18名
7月	図書室文学散歩	25名
8月	夜の図書室スタンプラリー	46名
9月	おはなしクッキング	16名
10月	としよしまつり (10/26.27) しかけえほん展、ミニ工作	105名
11月	としよしまつりたんけん	13名
12月	としよしまつりコンサート	80名
1月	ブックカフェ	11名
2月	節分ワークショップ	9名
3月	ブックカフェ	51名

(計374名；前年408名)

(令和2年度)

実施月	内 容 等	参加者
7月	工作イベント「ミニアクアリウム製作」	10名
8月	ちょっぴりこわ〜いおはなし会	15名
10月	おはなしクッキング「ハロウィン・スコーン」 としよしまつり(町民祭)図書 展示・ミニ工作イベント・本のリ サイクル市	45名
11月	としよしまつりたんけん	18名
12月	クリスマス工作とおはなし会	17名
3月	工作イベント「アマビエちゃん」 づくり	6名

(計111名；前年度374名)



(3) 青年教育

ア 重点目標

- (1) 青年の意識・要求に応じた学習機会の提供に努め、参加者の増加を図る。
- (2) 団体活動、学習グループづくりの支援に努め、自主的・自発的活動の促進を図る。

イ 令和2年度の重点施策

- ・ 地区活動推進協議会や各種地区活動の支援

ウ 事業及び評価

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合
①青年の意識調査	毎年、成人式の日を実施する意識調査（アンケート）の内容について検討し、商工観光課、総務課などと協議の上で作成するが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、成人式が中止となったため未実施。	—
②町民大会の受け入れ	町広報、ホームページ等で、大会参加、受け入れを周知している。	A
③講習会・セミナー等への参加の推奨	町、県主催事業について、町広報、ホームページ等で、大会参加、受け入れを周知している。 前年度参加者へは通知している。	A
④自主活動グループの育成	既存の団体に対する協力や、各種活動に対する支援はこれまでどおり実施しているが、令和2年度の新規グループの設立はなかった。 【課題】後継者の確保・育成が難航している団体もある。	B
⑤地域活動への参加の奨励	各地区活動推進協議会と連携し、補助金の交付や運営面での支援などを実施し、地域活動の活性化に努めた	A
⑥成人式	成人式実行委員会を設置し、祝賀会等の運営方針については新成人の意見を取り入れながら決定するなど、最終的に自主運営を目指した体制作りを進めている。（※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止）	—

(4) 成人教育

ア 重点目標

(1) 情報提供体制の強化に努め、新規学習者の参加促進を図る。

(2) 学習者の多様なニーズに対応した学習機会の拡充に努め、学習者の増加を図る。

イ 令和2年度の重点施策

- ・学習情報提供の充実

ウ 事業及び評価

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合
①教育相談活動	ニーズに応じて、随時対応している。	A
②自主活動グループへの支援	既存団体は、従来どおりの支援を行っている。 新規のグループの設立はないものの、今後も随時対応していく。	B
③講習会・セミナー等への参加の奨励	町、県主催事業について、町広報、ホームページ等で、大会参加、受け入れを周知している。 前年度参加者へは、通知している。	A
④指導者の育成と発掘	指導者の育成は、循環させることが重要で、なにも行動をおこさなければ、高齢化のみ進行する、少年教室の閉校式等で、主に中学生に対して後継者が不足している現状を伝えるなど、後の指導者への動機付けを実施していきたい。	B
⑤パソコン教室	機器の老朽化のため活動を中止。	B

(5) 高齢者教育

ア 重点目標

(1) 自主活動グループの育成と活動に対する支援に努め、自主的学習の拡充を図る。

(2) 異世代間交流事業の推進に努め、学習者の活用の促進を図る。

イ 令和2年度の重点施策

・学習情報提供の充実

ウ 事業及び評価

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合									
①教育相談活動	ニーズに応じて、随時対応している。	A									
②町民大会への受け入れ	ふじこま大学を中心に、活動の充実を図り、作品の展示や発表会への出演など、関わりを持ってきたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、発表会、体験コーナーなどが中止となっている。 先行きが不透明ではあるものの、今後も継続して発表等のできる場所を確保するなど、高齢者教育を充実したい。	B									
③地域活動の参加の奨励	主に各地区活動推進協議会の活動支援を通して、地域活動の一層の活性化に努めた。	A									
④関連他部局・関係諸団体との連携	町民課とふじこま大学の教養講座で連携してきた。 健康・福祉関連の取り組みは、町民課と継続して連携していきたいと考えており、また、新規団体との連携も図ってきたい。	A									
⑤ふじこま大学	<p>令和2年度はコロナ禍ではあったが、開始時期を遅らせ活動を行った。また、講座数が少ないため、本来であれば努力証の対象者とならないところを、要件を緩和するなどして対応し、参加を促した。</p> <p>年々受講者が減少傾向にあり、また、講師の確保についても町内だけでは難しくなっていることから、新規参加者の勧誘、町外の講師起用について、これまで以上に対応を検討していく必要があると考えている。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">月日</th> <th style="width: 50%;">内容等</th> <th style="width: 30%;">参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度 5/13（月） ～11/8（金）</td> <td>書道、茶道、切り絵等10コースのほか、年4回の教養講座を実施</td> <td>55名</td> </tr> <tr> <td>令和2年度 7/3（金） ～11/6（金）</td> <td>書道、茶道、切り絵等10コースのほか、年2回の教養講座を実施 ※5月は開校式のみ、各コースは7月から実施。</td> <td>49名</td> </tr> </tbody> </table>	月日	内容等	参加者	令和元年度 5/13（月） ～11/8（金）	書道、茶道、切り絵等10コースのほか、年4回の教養講座を実施	55名	令和2年度 7/3（金） ～11/6（金）	書道、茶道、切り絵等10コースのほか、年2回の教養講座を実施 ※5月は開校式のみ、各コースは7月から実施。	49名	A
月日	内容等	参加者									
令和元年度 5/13（月） ～11/8（金）	書道、茶道、切り絵等10コースのほか、年4回の教養講座を実施	55名									
令和2年度 7/3（金） ～11/6（金）	書道、茶道、切り絵等10コースのほか、年2回の教養講座を実施 ※5月は開校式のみ、各コースは7月から実施。	49名									

(6) 社会体育

ア 重点目標

- (1) スポーツに楽しむ場や機会の提供に努め、スポーツ活動への参加拡大を図る。
- (2) スポーツ団体および指導者の育成に努め、自主的活動の促進を図る。

イ 令和2年度の重点施策

- ・スポーツを通じた世代間交流の掘り起こし
- ・スポーツを楽しめる環境・施設作り
- ・スポーツを通じた、健康増進の支援充実

ウ 事業及び評価

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合						
①効果的な情報提供	チラシ・ポスターやホームページ、町広報など、様々な媒体でスポーツに関する行事等の情報提供を行った。	B						
②学習機会の提供	コロナ禍ではあったが、開催可能であった家庭バレーボール大会等の町民向けスポーツイベントを実施し、町民が気軽にスポーツに親しむことのできる機会を提供した。	B						
③単協及び自主活動グループの支援並びに主催事業の奨励	例年同様、体育施設の整備や、体育協会への支援を通して、各種スポーツ団体を支援している。また、主に体育協会加盟団体主催のスポーツ大会等への後援も行っているが、会員の減少等に伴い行事の開催が難しい団体も出てきている。	B						
④町民各世代の社会体育の推進	チャレンジデーや駅伝・マラソン大会など、運動のきっかけづくりとして各種事業を実施しているが、コロナ禍により中止となったものも多かった。例年の事業においては、高齢者に比べて働き盛りの世代の運動実施率が低い傾向にあることが課題か。	B						
⑤スポーツ推進委員	各種スポーツイベント時に、競技の指導や補助を担当している。また、委員自身の技術向上のため各種研修等への積極的な参加を推奨し、令和2年度には、「スポーツ能力測定会及びスポーツ体験会」に参加している。	A						
⑥関連他部局・関係諸団体との連携	体育協会・総合型スポーツクラブ・スポーツ少年団等、各種スポーツ団体の活動と連携して、各世代の町民がスポーツに取り組みやすい体制を町全体として作っている。	A						
⑦各種スポーツ教室の実施	<p>例年、藤里スキークラブと連携して、町営スキー場においてスキー教室を実施しているが、令和2年度はコロナ禍のため全日程中止となった。</p> <p>【平成30年度】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>月日</th> <th>内容等</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1/19（土） ～1/27（日）</td> <td>スキー教室</td> <td>67名</td> </tr> </tbody> </table>	月日	内容等	参加者	1/19（土） ～1/27（日）	スキー教室	67名	—
月日	内容等	参加者						
1/19（土） ～1/27（日）	スキー教室	67名						

	<p>【令和元年度】 積雪不足のためスキー教室は開催せず ※代替え等その他のスポーツ教室についても実施無し</p> <p>【令和2年度】 コロナ禍によりスキー教室は開催せず ※代替え等その他のスポーツ教室についても実施無し</p>																						
<p>⑧各種スポーツ大会の実施</p>	<p>年間を通して様々なスポーツ大会を開催したほか、町民のスポーツを通じた交流および社会体育の推進を目指した活動を行った。</p> <p>なお、コロナ禍より中止となった大会もあった。</p> <p>※以下は教育委員会主催事業および主要な参加行事等</p> <p>※「－名」は、中止のため</p> <table border="1" data-bbox="488 779 1233 1547"> <thead> <tr> <th>月日</th> <th>内容等</th> <th>参加者 (前年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/27 (水)</td> <td>チャレンジデー 中止</td> <td>－名 (2,896名)</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>全町婦人家庭バレーボール大会 中止</td> <td>－名 (29名)</td> </tr> <tr> <td>10/4 (日)</td> <td>駅伝・マラソン大会 中止</td> <td>－名 (前回 229名)</td> </tr> <tr> <td>10/11 (日)</td> <td>秋田 25 市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！ 中止</td> <td>選手 －名 (選手 15名)</td> </tr> <tr> <td>11/6 (水)</td> <td>家庭バレーボール大会</td> <td>39名 (27名)</td> </tr> <tr> <td>1/20 (水) から 2/3 (水)</td> <td>ナイター家庭バレーボール大会</td> <td>37名 (39名)</td> </tr> </tbody> </table>	月日	内容等	参加者 (前年度)	5/27 (水)	チャレンジデー 中止	－名 (2,896名)	6月	全町婦人家庭バレーボール大会 中止	－名 (29名)	10/4 (日)	駅伝・マラソン大会 中止	－名 (前回 229名)	10/11 (日)	秋田 25 市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！ 中止	選手 －名 (選手 15名)	11/6 (水)	家庭バレーボール大会	39名 (27名)	1/20 (水) から 2/3 (水)	ナイター家庭バレーボール大会	37名 (39名)	<p>B</p>
月日	内容等	参加者 (前年度)																					
5/27 (水)	チャレンジデー 中止	－名 (2,896名)																					
6月	全町婦人家庭バレーボール大会 中止	－名 (29名)																					
10/4 (日)	駅伝・マラソン大会 中止	－名 (前回 229名)																					
10/11 (日)	秋田 25 市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！ 中止	選手 －名 (選手 15名)																					
11/6 (水)	家庭バレーボール大会	39名 (27名)																					
1/20 (水) から 2/3 (水)	ナイター家庭バレーボール大会	37名 (39名)																					
<p>⑨ふじさとスポーツクラブに対する支援</p>	<p>平成22年に当町の総合型スポーツクラブとして設立されたクラブで、年間を通してウォーキングやラージボール卓球、ユニカール等様々な活動を行っている。</p> <p>教育委員会では、主に補助金等を通じて活動を支援しているほか、通年での活動や各種交流大会の運営等にも協力している。</p> <p>(コロナ禍により事業は例年より一部変更して実施、交流大会は中止)</p>	<p>B</p>																					

(7) 公民館活動

ア 重点目標

- (1) 各種事業の内容の工夫に努め、町民参加の増加を図る。
- (2) 地区活動推進協議会を支援し、各々の特性を生かした地域づくり事業の充実に努め、地域の活性化を図る。

イ 令和2年度の重点施策

- ・生涯学習や様々な機会を通じて豊かな心の育成

ウ 事業及び評価

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合												
①町民大会への受け入れ	町広報、ホームページ等で、大会参加、受け入れを周知している。	B												
②地域活動の参加の奨励	各地区活動推進協議会と連携し、補助金の交付や運営面での支援などを通して、地域活動の活性化に努めた。	B												
③公民館の施設及び設備の充実	開発センターは、老朽化が進んでいるが、年次計画を立て修繕を実施している。但し、財政面から、すぐには実現しない項目もあることから、引き続き要望していく。	A												
④関連他部局・関係諸団体との連携	公民館講座の講師面で、切り絵、合唱などの団体と連携して活動している。	B												
⑤公民館事業の実施	<p>公民館の主催事業としては、主に「少年教室」「書初め大会」「和友教室」を開催した。</p> <p>引き続き、利用者のニーズに合わせたメニューの設定を検討していく必要がある。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>月日</th> <th>内容等</th> <th>参加者 (前年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月～8月</td> <td>少年教室開催</td> <td>132名 (115名)</td> </tr> <tr> <td>1月10日(金)</td> <td>書初め大会開催</td> <td>25名 (20名)</td> </tr> <tr> <td>1月～3月</td> <td>和友教室開催</td> <td>17名 (19名)</td> </tr> </tbody> </table>	月日	内容等	参加者 (前年度)	7月～8月	少年教室開催	132名 (115名)	1月10日(金)	書初め大会開催	25名 (20名)	1月～3月	和友教室開催	17名 (19名)	B
月日	内容等	参加者 (前年度)												
7月～8月	少年教室開催	132名 (115名)												
1月10日(金)	書初め大会開催	25名 (20名)												
1月～3月	和友教室開催	17名 (19名)												

(8) 芸術・文化活動

ア 重点目標

- (1) 情報提供に努め、生涯学習として活動の促進を図る。
- (2) 講座、教室などの事業の充実に努め、新規参加者（特に若年層）の増加を図る。
- (3) 団体の育成と支援の継続に努め、自主活動のさらなる促進を図る。

イ 令和2年度の重点施策

- ・生涯学習、芸術文化の場づくり
- ・文化講演会を開催し、町民の知識視野の拡大
- ・芸術文化新規参加者の掘り起こしと指導者の育成

ウ 事業及び評価

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合
①学社融合の推進	5月～10月まで、藤小正課クラブで、大正琴、切り絵を実施し、芸文協団体と在学青少年の交流機会を深めた。	A
②町民祭	これまで2日間の開催だったところが、10月24日（土）のみの開催となった。また、新型コロナ感染防止対策等の影響もあり、芸術・文化団体の学習成果等は展示のみで、町民芸能発表会や体験コーナーなどを中止とした。	A
③文化講演会・芸術鑑賞会	11月に予定していた芸術鑑賞会が新型コロナのため中止となった。 前年度：文化講演会 講師：橋本五郎氏（約250名）	—
④新規講座・教室の実施	近年は、新たな指導者の確保が難しくなっており、また、現任の指導者についても、個々の都合もあって平日での活動が出来ない状況となっている。	B

(9) 文化財保護・郷土芸能継承

ア 重点目標

- (1) 文化財の調査・保護に努め、学習資料として活用促進を図る。
- (2) 郷土芸能継承事業の充実に努め、継承者の増加を図る。
- (3) 文化財・郷土芸能を学ぶ機会や場の拡充に努め、町民の興味・関心の高揚を図る。

イ 令和2年度の重点施策

- ・文化財の調査・保護の促進
- ・文化財を有効に利活用できる体制作り
- ・生涯学習、文化活動を担う人材育成
- ・新たな文化施設の展望

ウ 事業及び評価

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合
①文化財の保護	県指定天然記念物である櫟等の樹勢診断を専門家に依頼するなどして、保護に努めた。 町民の文化財への関心を高めるため、平成30年度より発行している「文化財だより」を継続して発行した。	B
②自主活動グループの奨励と活動の支援	町内の自主活動グループと連携し、町の公民館事業「少年教室」に前年度に引き続き「郷土史コース」（令和元年度～）を設置した。	B
③芸能保存団体の活動の支援	藤里町芸術文化協会への支援（補助金交付等）を通して、各種芸能団体への支援を従来どおり行っている。 また、令和2年度は各芸能団体に対して国・県や民間団体による補助金の情報提供を行った。	B
④町民祭での発表・展示の奨励	新型コロナの影響により、発表会や体験が中止となったため、各種団体の作品の展示のみとなった。	A
⑤歴史民俗資料館の活用	前年度に引き続き、白神山地世界遺産センター藤里館での出張展示を行い、好評を得た。	A
⑥切り絵原画の保存と活用	例年どおり、白神山地世界遺産センター藤里館で切り絵展を開催した。	A



(10) ふるさと学習

ア 重点目標

- (1) 年代に応じた系統的な学習計画を策定し、一生を通じてのふるさと学習の推進を図る。
- (2) 情報提供体制の整備に努め、町民の興味・関心の高揚を図る。
- (3) 学習指導要領に適したふるさと教育指導計画を策定し、学社連携を重視した事業の展開に努める。

イ 令和2年度の重点施策

- ・将来この町で暮らしたくなるようなふるさと教育
- ・郷土の歴史を学び、ふるさとに誇りをもてる学習機会の提供

ウ 事業及び評価

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合
①ふるさと学習計画の内容の検討	義務教育学校の開設に向けて、従来の「ふるさと教育体験学習」と、小・中学校の「総合的な学習」を融合させた「町づくり学」を実施した。	A
②ふるさと学習事業の充実	町内の団体・企業等の協力も得ながら、充実した内容を設定できるよう努めた。	A
③ふるさと教育担当者会議	小・中学校、町教育委員会事務局が、複数回の担当者会議の場を設けており、計画～反省まで、各担当者が持っている情報の共有および内容を検討する場としている。	A
④資料の教材化と活用	「町づくり学」を推進するため、教材等の洗い出しを行い、必要な教材等の提供を行った。	A
⑤ふるさと教育体験学習	小学校3年生から中学校3年生までの7年間、各学年でそれぞれのテーマに沿った体験学習の機会を設けてきたが、昨年度に引き続き「町づくり学」へ移行する中で、内容を部分的に見直すなどして、試験的な取り組みを行った。	A
⑥成果の発表	10月24日（土）の町民祭の中で、学習成果の展示を行っている。	A